

## 「ポンポコキュルキュルプップカプー」

坂口 裕靖

もうね、ちょっと聞いてくださいよ。参ったの、本当。この連載を読んでくださっている方はご存知かもしれませんが、筆者はスバルのxvに乗ってます。そんで昨年末12/27に冬タイヤに交換した際、「冷却水にオイルが混じってる」とディーラーから指摘されました。担当曰く、今後冷却系にトラブルが発生することが予想され、その場合はエンジンを交換する高額な修理となることから、買い替えを勧められていたわけです。続いて年明け2月、今度はバッテリー不調が発生。バッテリーを新品に交換したタイミングで、車両保険に「故障運搬時車両損害特約」を追加しました。古いクルマに乗っていて車両保険に入っており、かつ故障時にディーラーまでレッカーした場合、故障修理に要する費用を上限付きで支払う、というような特約です。担当の言う「冷却トラブル」に保険で備えることにしたわけ

です。それでもこの時点では、「いやまさか、12万キロぐらいで壊れないっしょ？」とか思ってたんですが...

3月頭、冷却水の温度メーターがレッドゾーンに突入する状態がぼつぼつと現れ始め、やがて冷却水の高温警告灯が点滅するようになりました。こりゃだめだと思ってディーラーまでレッカーしてもらい、状況を調べてもらったところ、修理する以外に方法はないだろうということでした。ディーラーと保険会社の間で何度かやり取りがあったものの、最終的には保険会社の方で保険金を下ろすことに同意してくれたため、修理が可能となりました。保険でカバーしてくれる代車は15日間でしたが、この折衝期間中に切れちゃいました。修理すると1ヶ月近くかかるため、代車は自分で確保しなければならず、ディーラーに教えてもらったレンタカーで過ごしてたわけ

です。修理費用の大部分は保険で賄えるわけですが、それでもレンタカー代と修理費用残額は結構インパクトが大きく、懷を深くえぐられた状態です。

そんなこんなで4月の頭に修理が終わって戻ってくるかと思いきや、エンジン組み上げて確認したところ、燃料噴射系統に問題があることが判明、部品を確保する時間が必要となり、納品は1週間遅れました。代車のレンタカーは1ヶ月の契約だったため、遅れた分のレンタカー代についてはディーラー側で負担してくれるということになり、そこは助かりました。

といったすったもんで修理が完了して引き渡されたのが4/12の水曜日。受け取った時点では全く問題なく、それまで1,400rpm付近で発生してたカラカラカラという音(担当曰くノッキングということでしたが)もしなくなり、調子良くな

## One Point BUZZ WORD

## 乾燥時間

洗濯機を更新してから1年。今のところ故障せずに毎日動いてくれています。購入時、売り場担当者の「乾燥機能の消費電力が他社の半分ぐらいなんですよ」という言葉が割と決め手になってこの機種に決めたわけです。乾燥機能とは要するに水分を蒸発させる仕事をするわけですから、基本的には熱力学的な問題であり、パラメータは複雑でしょうが、必要なエネルギーは当然物理的に決まってきます。前に使ってた洗濯機は熱風を当てて乾燥させ、湿気を含んだ高温の蒸気を水道水で冷却するという関係上、電気代に加えて水道代がかかって結構大変でした。これが安くなるなら、と思ったわけです。

さて、1年間使ってみた感想としては「ちっとも乾かねえ」で

す。タオル1本ならまあ満足できるんですけど、ちょっとまとまった量になるともうだめ。「濡れてる」状態から「かなり湿ってる」状態に持っていくことはできますが、「乾いてる」とは到底言えない状態です。もちろん何回か乾燥をかけることで「乾いてる」にはなるのですが、体感的におよそ3回が必要です。そしたらね、結局消費電力的には他のより多いわけです。

しかも乾燥機能の能力を発揮させるためには、1,200rpm/12分の脱水が不可欠です。しかもこれ、震度1相当ぐらいの揺れを発生させるんですわ。夜中に気軽に使える機能じゃありません。さらに洗濯物がドラムに張り付くので、手で剥がさないとだめ。

結局、現在のプロトコルとしては夜中は800rpm/12分、昼間は1,200rpm/12分で脱水後、一度空気清浄機の強風に当てて表面を乾燥させたあと、残った湿り気を除くために乾燥機能を1時間使う、という線に落ち着いています。ドラムで回転させることで繊維が叩き伸ばされ、結果綿埃の発生を代償として、割と柔らかに仕上がるという寸法です。買った時はスイッチボナーで乾燥まで仕上がることを期待してたんですが、ダメでした...

ったんじゃないかと思っていたくらいです。そのまま土曜日まではなんの問題もなく過ごしました。

ところが日曜日の4/16。東京に用事があるで関越で東京方面へ向かっていました。ちょうど所沢の出口を過ぎたあたりで、追い抜きをしようとして加速するためにアクセルをふかして3,000rpmから4,000rpmぐらいにしたところ、かすかにカラカラいう音が聞こえてきました。最初は気のせいかと思ってたのですが、アクセルを離すと音がやみ、3,500rpmを超えたあたりでカラカラいうことに気づきます。1,400rpmのノッキングが高回転側に移動したのかしら、とか呑気に構えてました。

ところが、カラカラ音がだんだんひどくなり、アクセルを離してもカラカラという音がするようになってきます。やがて大泉を過ぎたあたりでキュルキュルといった音も混じるようになり、カラカラキュルキュルといかにも調子悪そうです。ありゃ、これは今日の予定をキャンセルしてディーラーに向かうべきか?とか考えつつ、万一故障した場合の事を考えて一番左側のレーンで、流れを止めない程度に減速してなんとか進んで行きます。やがて練馬の出口にさしかかり、ランプ出口のところでちょうど信号が変わって赤になりました。停止線のところ、車列の先頭で止まったわけです。この時、アイドリングストップを有効にしていたため、当然ながらエンジンが止まります。

しばらくして信号が青になり、ブレーキを離したところ、キュルキュルキュルと手応えの無い音が続いた後「エンジンかかりません」の表示が。もう頭のなか真っ白ですよ。あわててハザードを焚いて、ブレーキ踏んで、Pレンジに戻し、リスタートを

試みますが、キュルキュル言うものの全くかかりません。練馬の出口でみんな殺気立ってるため、後ろからはプップカブーブー言う音が耳に刺さります。何回やってもエンジンが始動しないなか、8回目にやっとエンジンがかかりました!でも、いつもと違うエンジン音で、壮大なカタカタカタカタいう音に加えてポンポン蒸気みたいなポンポコポンポコキュルキュルキュルとか言ってます。チキチキマシンか。じゃなきゃイクラちゃんか、お前は。サイドブレーキを外してDレンジに入れ、アクセルを踏んで見ると、とりあえず前に進みます。踏みすぎて壊れたら元も子もないので、恐る恐る交差点を通過して、左の路肩に寄せて停めるところを探します。結局ガソリンスタンドの手前、バイクやさんの目の前でガソリンスタンドに入る邪魔にならないギリギリのところに止め、エンジンを停止しました。冷や汗が吹き出しましたが、なんとか事故は起こさずにすみしました。

そんでディーラーに激おこ電ですよ。引き渡し受けて4日で走行不能になるような故障が発生するってどういう事ッスカ!? ナメてんすか!? という意味のことを上品に伝えたところ、保険屋に連絡してくれとの返事。まあそうなんだけどね...

というわけで今年に入って3回めの保険屋ですよ。流石にもはや手慣れたもので、レッカーと代車の手配を頼みます。レッカーはJAF経由で確保できたとのことで、1時間ぐらいで到着、載せてくれるとのこと。で代車はキャンセル。積み込むためにエンジンをかけたら「うわ、事故にならなくてよかったですね」とのお言葉。そのまま高速で川越にトンボ返りでディーラーに向かいます。当方激おこのため、店舗のみならずディーラーの本社にも連絡し、どうい

う事ッスカ!? と強気にプッシュしたところ、本社のお客様相談室長が直接会ってお話したいとの事で、急遽ディーラーの店舗にて打ち合わせですよ。当初お客様相談室長はこちらをさっさと帰そうとしてたわけですが、いや、待てと。修理上がって4日めに、高速でエンジン停止しうる故障が発生するってどういう事ッスカ!? これ故障箇所だけじゃなくて原因追求しなきゃでしょ!? それだけじゃなくて、そもそも冷却水にオイル混じった原因追求せずにエンジンどっかやっちゃうってどういう事ッスカ!? そっちもちゃんとやらなきゃでしょ!? という意味のことを侃々諤々やった結果、(1)会社名義もしくは店舗名義での本議事録提出、(2)4/16事象の(故障箇所追求ではなく)原因追求(部品の問題か、組付けの問題か、等)(3)冷却水にオイルが混じる事象の原因追求のため、おろしたエンジンの所在調査、(4)おろしたエンジンが見つかったらオイル混入事象の原因追求、(5)本社としてメンテナンス技術を推奨できる店舗の推薦、という5項目を了承してもらい、店舗が手配してくれた代車(走行距離18kmのわナンバーのクロストレック)を借りて帰ってきました。おろしたエンジンは見つかり、故障したエンジンと合わせて販社の本社技術スタッフが調査を始めたところでタイムアップのGW。はたしてこの問題がいつ片付くのか、予断を許さない状況なのでした。とほほほ。首がまわらん。

Hiroyasu Sakaguchi  
株式会社 IMAGICA Lab.